

# 平成30年 第4回鴻巣市臨時教育委員会 会議録

日 時 平成30年7月26日(木)  
午後1時17分から午後1時32分  
場 所 鴻巣市役所本庁舎 303会議室

## ○出席者

(教育委員)

議長	教育長	武 藤 宣 夫
	教育長職務代理者	石 原 完
	委員	河 野 英 智
	委員	丸 山 まゆみ
	委員	中 山 裕 子

(事務局職員)

学校教育部		
部長	服 部 幸 司	
学校支援課長	上 岡 勝	
学校支援課指導主事	毛 利 岳 志	

書記

教育総務部教育総務課副課長	鳥 沢 保 行
教育総務部教育総務課副主査	遠 藤 美 穂

## ○議題

(議案)

第34号 埼玉県第七採択地区教科用図書採択(案)について

## ○議事顛末

議 長 午後1時17分、平成30年第4回臨時教育委員会の開会を宣言する。

本会議の会議録署名委員は、私と河野委員を指名します。本日は臨時教育委員会のため、月例報告はございません。

直ちに議案第34号「埼玉県第七採択地区 教科用図書 採択(案)について」を議題とします。それでは、担当課より説明をお願いします。

学校支援課長 議案第34号 埼玉県第七採択地区 教科用図書 採択(案)について、資料に基づき説明する。

議 長 ただいま、担当課より説明がありました。この採択案につきまして、何か質疑等ありましたらお願いします。

河野委員 小学校の採択で、各教科で話題にのぼったことはありますでしょうか。

学校支援課長 主体的・対話的で深い学びが実現できるかという点や資料の新鮮さ、安全への配慮といった点について、各委員から質問が出ておりました。主体的・対話的で深い学びの実現という点においては、各社とも、その視点がちりばめられており、子ども主体の構成になっているとの意見が報告されておりました。また、資料の新鮮さについても、各社とも積極的に取り入れているとの報告がありました。安全面への配慮については、理科や家庭、保健で話題に上がり、各調査員からは、資料や図などで子どもたちにわかりやすく説明され、十分な配慮がされているとの報告がありました。

議長 ほかにございますか。

中山委員 使用実績については、何か取り上げられていましたか。

学校支援課長 いくつかの教科において、現在使用している教科書の改善点等について、委員から質問が出されておりましたが、各調査員からは、特に問題はなく使用できているとの報告がありました。

議長 ほかにありますか。

丸山委員 小学校についてですけれども、全会一致で選定がされたということによろしいですか。

学校支援課長 各市町から推薦された採択案は、すべての種目で同じ発行社でありました。調査員の研究報告や使用実績からも特段問題ないとの意見が多数であり、全会一致での選定となりました。

石原教育長職務代理者 委員の代表で採択会議に出させていただきましたが、小学校の方は使用する予定が来年度の一年間という事ですので、全部の教育委員会から、現在使用している教科書と同じものが推薦されておりました。先ほど事務局から説明があったとおり、なにか課題になっていることがありますかという質問が委員さんから出ていましたが、調査した結果、そういう事実は確認されなかったということで、各委員、全会一致で小学校の方は鴻巣市が推薦したものと同一教科書を採択することが決定されました。

議長 只今、小学校の教科用図書について、質疑がありましたが、中学校については、何かありますか。

河野委員 道徳は「学研」が選定されたとのことですが、保護者の意見や調査員の報告の中で特筆すべきことがあったでしょうか。

学校支援課長 まず、保護者の方の「学研教育みらい」への意見ですが、「生徒自ら主体的に課題を発見し、解決する能力を培うことを重視している構成になっている。」「深く考え、議論できるような工夫として、あえて主題名を本文中より前に記載していないところが特徴である。」という意見でございます。また、「巻頭にオリエンテーションと詩を紹介するページ、次に自分のことを記述するページがあることで、問題意識をもち自己を見つめながら、学習を進められる。」といったご意見もございました。

また、調査員の方ですが、「生徒が自ら主体的に課題を発見し解決する資質や能力を培うことを重視し、教材の主題名を記載せず、生徒の気づきを大切にした構成・展開にしている」ことを大きな特徴としてあげております。また、「多面的・多角的に考え議論することができるように、異なる複数の意見の提示や関連情報を取り入れたユニット学習で学びが深められるようになっている」こと、「教材および紙面の構成が、『何を学ぶか』『どのように学ぶか』『何ができるようになるか』を明確にしていることで、道徳的判断力や実践意欲を育むことができる。」といった特徴につきましても、報告されておりました。

議 長

ほかにありますか。

中山 委員

本市の教育委員会でも話題になりましたが、「道徳ノート」についての意見はありましたでしょうか。

学校支援課長

ノートについての質問が出され、話題には上がりました。調査員からは、ノートのある発行社と、ない発行社について触れるとともに、ノートの扱われ方等について説明がありました。いずれにしましても、それぞれの善し悪しがあるので、それを理解して使っていく必要があるとの見解でございました。

議 長

ほかにありますか。

丸山 委員

最終的に「学研」が優位になったということが、わかるようなことがあれば教えてください。

学校支援課長

協議の中では、各市町からまず推薦する発行社について報告がありました。鴻巣市は、学研教育みらいと東京書籍を推薦し、桶川市は日本文教出版と学研教育みらい、光村図書の3社を、北本市は学研教育みらいの1社、伊奈町が東京書籍、学研教育みらい、教育出版の3社を推薦しました。協議の中では、「考え、議論する道徳を大事にする」という点や「生徒が自ら考え、主体的に課題を設定できる」といった視点で意見が交わされ、最終的には「議論のしやすさ」や「生徒が先入観を持たず、主体的に教材に取り組める」といった点で、学研教育みらいが第七採択地区の採択案として、選定されました。

議 長

ほかにありますか。

石原教育長職務代理者

今、学校支援課長から説明があったとおり、3社推薦してきた教育委員会と2社推薦してきた教育委員会と、1社だけのところがありました。色々議論がありまして、例えば、いじめと命の尊重とかをユニット形式で3時間くらい扱うものですとか、自己評価、自分の心情を表すものですとか、特色のあるものがありました。「様々な教材がありいい」という委員さんの意見もありました。最終的に学研になったのは、各市教委さんから推薦があったなかで、学研はすべての教育委員会から推薦されているということや、先ほど、学校支援課長から説明がありましたとおり、子どもたちが主体的に学習していくために、最初から課題が設定されていて、話し合うという形ではなくて、自分たちで資料を見たり、話し合ったりして課題を見つけて議論していく、昔みたいに、物語を読んでどう思いますかというような国語的な授業ではなくて、道徳教育がこれから進めなくてはならない、皆で考えて議論する、そういう道徳教育に変えていくには、学研教育みらいさんは非常に良いのではないかと意見が各市町からありまして、最終的には、全員一致で、学研教育みらいが良いのではないかと

というのが、先日の採択協議会の様子でした。

議長 只今、詳細に石原委員さんから第七採択地区協議会の採択結果を説明していただきました。それでは、第七採択地区の協議会で選定した教科書の発行者について確認をさせていただきます。

まず、小学校の国語につきましては、光村図書

書写につきましては、光村図書

社会につきましては、東京書籍

地図につきましては、帝国書院

算数につきましては、東京書籍

理科につきましては、教育出版

生活につきましては、東京書籍

音楽につきましては、教育芸術社

図画工作につきましては、開隆堂出版

家庭につきましては、開隆堂出版

保健につきましては、学研教育みらい

中学校の道徳につきましては、学研教育みらい

ということで、第七採択地区採択協議会において採択案が決定しておりますので、ご承認いただけますでしょうか。

各委員 (了解)

議長 それでは、第七採択地区採択協議会で選定されました、平成31年度使用教科用図書の採択案について、すべて承認ということになりましたので、第34号議案についてはこれで審議を終了いたします。担当課から何かありますか。

学校支援課長 ありがとうございます。今後の手続きですが、本日の承認をもって、鴻巣市教育委員会の採択結果として、採択協議会会長宛に報告いたします。第七採択地区の4市町すべてにおいて、この第七採択地区の採択案が承認され、採択されたことが確認されますと、第七採択地区の採択結果として県へ報告されます。

議長 ほかにありますか。

議長 他に質問等のないことを確認し、本委員会を午後1時32分に閉会する。